



カガクでネガイをカナエル会社

2026年3月期第1四半期 決算説明資料

2025年8月8日(金)
株式会社 **力ネ力**



2026年3月期1Q 決算サマリー	01
業績概要	02
事業概況	04
貸借対照表	09
連結業績予想などの将来予測情報	10

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2026年3月期1Q 決算サマリー

2026年3月期1Q 実績

売上高
1,987億円
(対前年+0.2%)

営業利益
82億円
(対前年▲20.6%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益
43億円
(対前年▲39.4%)

- 売上高： 円高が進むなか、増収を確保
- 営業利益：（増益要因）Fiber 頭髮製品の販売回復、Medical 新製品の拡販継続
（減益要因）Vinyls アジア市況の低迷継続
MOD・MS 米国関税問題を背景とした一時的な需要調整
Foods 原料高騰
- 純利益： （減益要因）外貨建て資産の評価為替差損

【米国関税問題の影響】

- 主に欧米市場で一時的に需要が停滞（Material SU）

業績概要

(単位:億円)

	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	増減(対前年同期比)	
			金額	%
売上高	1,984	1,987	3	0.2%
営業利益	103	82	△ 21	△ 20.6%
経常利益	101	60	△ 41	△ 40.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	70	43	△ 28	△ 39.4%
営業利益率	5.2%	4.1%		
1株当たり四半期純利益	110.38円	67.74円		
為替・原料価格				
期中平均レート(米ドル)	155.9円	144.6円		
期中平均レート(ユーロ)	167.9円	163.8円		
国産ナフサ	79,000円	66,000円		

(前年同期比)

- 売上高 : 増収
- 営業、経常、純利益 : 減益

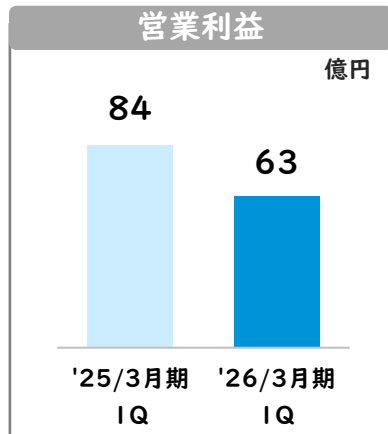
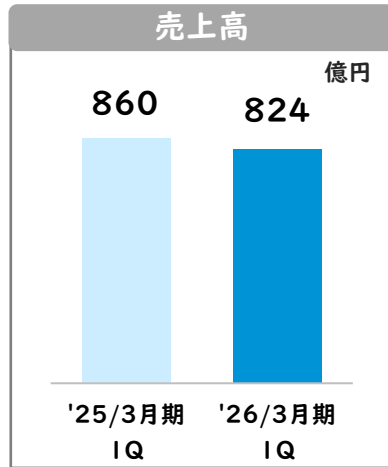
セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	増減		2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	増減	
			金額	%			金額	%
Material SU	860	824	△37	△4.3%	84	63	△21	△25.2%
Quality of Life SU	451	485	34	7.6%	43	52	10	22.4%
Health Care SU	184	183	△1	△0.5%	30	31	1	4.7%
Nutrition SU	487	493	6	1.3%	39	27	△12	△31.3%
その他	2	3	0	9.8%	1	1	0	15.4%
調整額	-	-	-	-	△94	△93	1	-
計	1,984	1,987	3	0.2%	103	82	△21	△20.6%

※SU:Solutions Unit

事業概況



(Material Solutions Unit)

Vinylsはアジア市況低迷継続、MOD・MSは欧米で一時的な需要調整 ⇒ 減収減益

Vinyls and Chlor-Alkali

- 1Q実績 : 塩ビ・か性ソーダのアジア市況低迷継続
- 2Q以降 : アジア市況の調整局面続く。スプレッド改善に注力

Performance Polymers (MOD)

- 1Q実績 : アジアの販売堅調。欧米住宅・建築市場の需要が一時的に調整局面となり、減益
MXの販売は拡大
- 2Q以降 : 欧米の住宅・建築市場の回復を見込む。高付加価値品の拡販・スプレッド改善を推進

Performance Polymers (MS)

- 1Q実績 : 米国の建築市場が一時的に調整局面。欧州の一部で米国向け輸出の様子見も発生
- 2Q以降 : 米国住宅・建築市場の回復と欧州顧客の対米輸出の復調を見込む

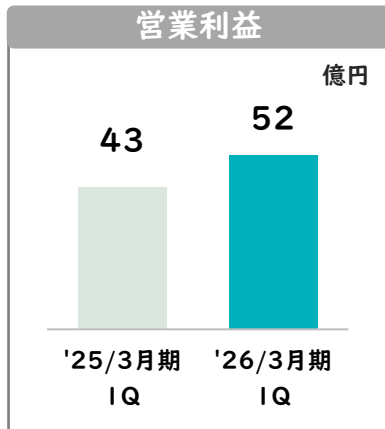
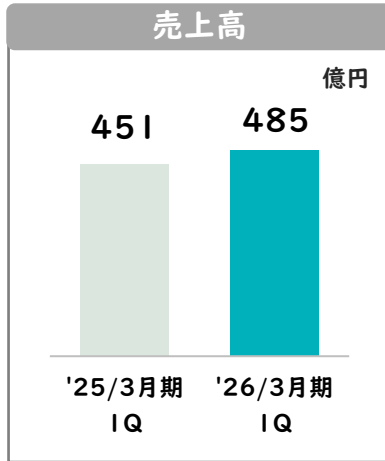
Green Planet

- 1Q実績 : 大型案件・用途で顧客での品質評価がさらに進む
- 2Q以降 : 下期以降に販売が大幅に増加する見通し

事業概況

(Quality of Life Solutions Unit)

Fiberは販売増 ⇒ 全体では増収増益



Foam & Residential Techs

- 1Q実績 : 自動車分野は前年を上回る販売も、農水産・建築分野の需要が低迷
- 2Q以降 : 価格改定・コストダウンなど、スプレッド改善が進む

E & I Technology

- 1Q実績 : 中国でのスマホ需要好調、ポリイミドフィルム販売増
大型液晶TVは生産調整、アクリル樹脂が販売減
- 2Q以降 : 高付加価値品（高周波PI・光学用アクリル樹脂改良品など）の拡販を見込む

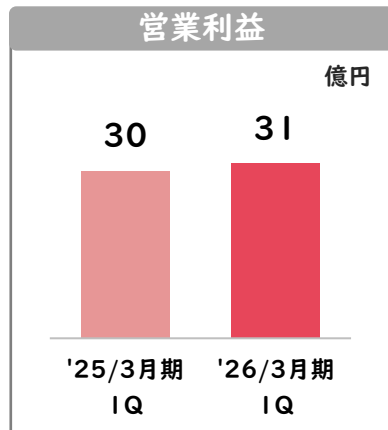
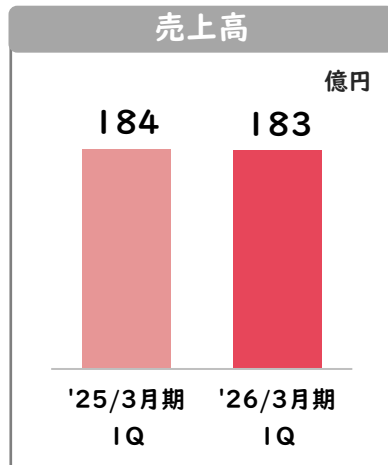
PV & Energy management

- 1Q実績 : 戸建て住宅向け高効率太陽電池の販売堅調
- 2Q以降 : ペロブスカイト太陽電池は、タンデム型での技術開発に注力

Performance Fibers

- 1Q実績 : 頭髮製品の販売が回復、難燃ファブリックも需要拡大
- 2Q以降 : 頭髮製品の需要回復基調が続き、販売地域がさらに拡大

事業概況



(Health Care Solutions Unit)

Medicalが大幅収益増、PharmaはCDMO市場の需要調整が継続
⇒ 全体では減収増益

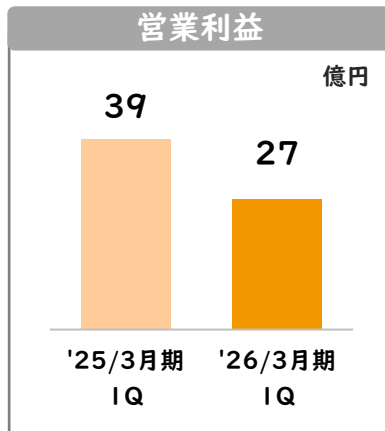
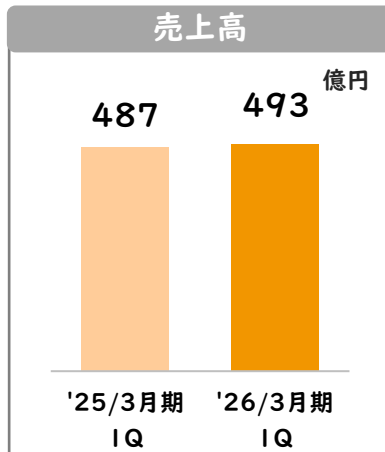
Medical

- 1Q実績 : 血液浄化器・カテーテルともに販売拡大
スコアリングバルーンなど新製品の拡販が収益拡大を牽引
- 2Q以降 : 新製品投入・拡販および販売地域の拡大（アジア・米国など）
血液浄化器の北海道新プラント（苫東工場）が海外への拡販に寄与

Pharma

- 1Q実績 : 前年4Qでの販売集中の影響もあり販売減となり、減益
- 2Q以降 : CDMO市場での新規案件増が見込まれ、3Qから低分子・バイオ医薬品ともに販売が本格的に回復の見通し

事業概況



(Nutrition Solutions Unit)

**Supplementは還元型Q10の販売堅調、
Foodsは原料価格高騰 ⇒ 全体では増収減益**

Supplemental Nutrition

- 1Q実績 : 米国を中心に還元型Q10の販売堅調。乳酸菌は中南米向けを中心に事業拡大
- 2Q以降 : タブレット型の還元型Q10の市場投入・販売チャネル拡充により拡販を加速

Foods & Agris

- 1Q実績 : 高付加価値品へのシフトが進むも、油脂原料価格の高騰により減益
- 2Q以降 : 価格改定が進み、スプレッドが改善
高付加価値品のシフト、BtoC製品の販売がさらに拡大

セグメント別 売上高・営業利益 1Q実績 (対4Q比)

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2025年3月期	2026年3月期	増減 (対4Q比)		2025年3月期	2026年3月期	増減 (対4Q比)	
	4Q	1Q	金額	%	4Q	1Q	金額	%
Material SU	874	824	△ 50	△5.7%	82	63	△ 20	△23.9%
Quality of Life SU	467	485	18	3.8%	43	52	9	20.4%
Health Care SU	218	183	△36	△16.4%	47	31	△15	△33.1%
Nutrition SU	479	493	14	3.0%	29	27	△2	△8.4%
その他	3	3	△1	△20.1%	2	1	△1	△30.5%
調整額	-	-	-	-	△ 94	△ 93	2	-
計	2,042	1,987	△55	△2.7%	109	82	△28	△25.2%

※SU: Solutions Unit

営業利益差異要因

- Material : Vinyls 塩ビ・か性ソーダのアジア市況低迷継続。MOD・MS 米国住宅・建築市場の一時的な需要停滞
- QOL : Fiber 需要回復、新地域への販売拡大。E&I 大型液晶TVでの生産調整
- Health Care : Pharma 前4Qへの出荷集中による一時的な販売調整
- Nutrition : Foods 油脂原料価格の高騰

貸借対照表

(単位:億円)

		2025年3月末	2025年6月末	増減
資産の部	流動資産	4,445	4,436	△ 10
	固定資産 等	4,756	4,767	10
	資産合計	9,201	9,202	1
負債の部	有利子負債	2,033	2,101	68
	その他	2,244	2,186	△ 58
	負債合計	4,277	4,287	10
純資産の部	自己資本	4,713	4,700	△ 13
	非支配株主持分 他	211	215	4
	純資産合計	4,924	4,915	△ 9
負債、純資産 合計		9,201	9,202	1
自己資本比率		51.2%	51.1%	
D/Eレシオ		0.43	0.45	
1株当たり純資産		7,488.51円	7,497.41円	

- 総資産 : 棚卸資産・有形固定資産の増加などにより増加
- 負債 : 借入金の増加などにより増加
- 純資産 : 配当金支払い・自己株式増加などにより減少
- 自己資本比率 : 51.1%

連結業績予想などの将来予測情報

➤ 2Q以降の世界経済見通し

- ✓ 米国関税問題への警戒感が弱まり、市場は落ち着きを取り戻すと想定

➤ 業績予想に関する説明

- ✓ 1Q業績は全体として、想定範囲内のスタート
- ✓ Health Careの収益拡大を中心に各SUで改善、収益力向上
- ✓ 3Q以降全社営業利益は四半期あたり110億円超の水準まで回復する見通し
- ✓ 先端事業の収益構成比を高め、全社のポートフォリオ変革を推進

➤ 2025年5月14日公表の連結業績予想は変更しない

〈参考〉2026年3月期 連結業績予想 (2025年5月14日公表)

	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (予想)	(単位:億円)	
			増 減 金額	%
売上高	8,072	8,200	128	1.6%
営業利益	401	420	19	4.9%
経常利益	329	380	51	15.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	253	330	77	30.4%
営業利益率	5.0%	5.1%		
1株当たり当期純利益	400.91円	524.36円		
1株当たり配当金	130.00円	160.00円		
ROE(自己資本当期純利益率)	5.5%	7.2%		
為替・原料価格				
期中平均レート(米ドル)	152.6円	145.0円		
期中平均レート(ユーロ)	163.9円	155.0円		
国産ナフサ	75,475円	70,000円		

< お問い合わせ >

(株)カネカ IR (Investors Relations) 部

 **03-5574-8090**